



① 聞く耳を作り 学習する仕組み

- 4.2 利害関係者ニーズ及び期待の理解
- 5.1 リーダーシップ及びコミットメント
- 7.3 認識
- 9.2 内部監査
- 9.3 マネジメントレビュー
- 10.1 一般
- 10.2 不適合及び是正処理
- 10.3 継続的改善

② 利益を増やす体質

- 5.2 環境方針
- 5.3 組織の役割、責任及び権限
- 6.1 リスク及び機会への取組み
- 7.1 資源
- 7.2 力量
- 8.1 運用の計画及び管理
- 9.1 監視、測定、分析及び評価

③ 明日を約束する成長戦略

- 4.1 組織及びその状況の理解
- 6.1 リスク及び機会への取組み
- 6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定
- 8.2 緊急事態への準備及び対応

多くの中小企業が環境マネジメントシステム(EMS)に取り組んでいるが、形骸化している傾向がある。これを実質化し、また、企業形態に合致した工夫により、企業経営を革新することが可能であり、具体的な企業を例に、研究を進めている。

【EMSを実質化するための3つの視点】

- ① 企業活動情報の発信を工夫して関係者の意見を積極的に聞き取り、学習する継続的な経営改善
- ② 見える化と5SにEMSを適用し、全員参加による生産性向上とコスト削減で利益を増やす体質改善
- ③ SWOTクロス分析により強みと致命的リスクを把握した成長戦略作り
←上記3つの視点とISO14001の関連項目

中小企業の経営形態は、規模や業種が様々であり、EMSを実質化し、経営革新するには、経営形態に則した種々の仕掛けが必要になるため、実例を基に研究を進めている。多くの企業の参加を要望する。

また、企業利潤の追求と社会貢献を共に達成でき、CSR経営を更に進めたCSV経営についても、中小企業として望ましい形は何かを研究している。これも企業の参加を要望する。

キーワード

中小企業経営、経営革新、環境マネジメントシステム、成長戦略、CSV

相談に応じられる内容

中小企業経営、環境マネジメントシステム活用、CSV経営